

自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理念を掲げている		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・毎朝礼時に職員一同で理念を読み上げ、意識付けを行っている		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・玄関、職員室、会議室などに理念を掲示している	○	・掲示だけではなく、交流を通して家族や地域の方などへの理念の浸透と理解を深めていきたい
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・夏祭りやバザーを実施し、近隣住民との交流を深めている ・散歩の際、積極的な挨拶を行なっている	○	・気軽に施設内へ立ち寄っていただける雰囲気づくりに努めたい
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域の祭りや神社の掃除への参加 ・地元の喫茶店やスーパーの利用 ・トライやるウィークでの地域中学生やボランティアの受け入れを行っている	○	・夏祭り、バザー以外での地域の方との交流できるイベントの実施 ・地域行事への積極的な参加

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・老人会のボランティアグループによる慰問活動の場として利用していただいている	○	・地域の高齢者の方との交流を深める事によって、その方に応じた介護のアドバイスや情報提供を行いたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・第三者評価後の会議にて指摘のあった項目に対しての改善に向けての話し合いを行っている	○	・改善に向けての話し合いの後、実際に改善できたかどうかの検討会の実施
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・地域の方に施設に足を運んでいただき、和やかな空気の中で活動内容や行事予定の報告を行っている	○	・運営推進会議での意見や内容を家族に報告する場を設ける
9 ○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・町の健康福祉課を時折訪問し、情報交換等をおこなっている		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・学ぶ機会は設けていないが、必要な場合は制度について熟知した職員が対応している	○	・勉強会や研修を実施し、学ぶ機会を設け、職員全体が理解し対応できるようにしていきたい
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・学ぶ機会は設けていないが、他所での虐待や事故の新聞記事を掲示し、防止や意識付けを行っている	○	・勉強会や研修を実施し、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、また事例を挙げ検討会の実施を行いたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得	・重要事項説明書、契約書に明示しており、入居時に家族に説明し、同意を得ている		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	・日常会話を通して、利用者から色々な話を聞き取り、運営に反映させている ・運営推進会議に利用者に参加していただき意見を発言していただいている		
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・月1回の近況報告の手紙、広報誌、金銭出納簿、領収書の送付を行っている		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・玄関に御意見箱を設置している ・年1回の家族懇親会時にアンケートを実施している	○	・アンケートの回答に対し、改善に向けての会議を行いたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月1回の定例会議、フロア会議を行っている ・運営者による意見や提案を聞くための事業所訪問がされている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・体調不良の職員の勤務調整を行っている ・介護休暇の実施		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・現場の職員にはなるべく移動がないようにしてもらっているが、やむなく移動があった場合でも、慣れるまで勤務の調整等を図っている</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・施設内の研修、勉強会を行っている</p> <p>・個別で施設外への研修に参加し、資格取得を行っている</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・同一の社内間ではあるが、定期的な勉強会を設け、サービスの向上のための情報交換を行っている</p>	○	<p>・地域行事を通して、地域の同業者と交流できる場づくり</p>
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・業務外での職員間での親睦会の実施</p> <p>・状況に応じ、個別面談を行い意見や悩みを聞く機会を持っている</p>	○	<p>・職員や管理者同士での意見や悩みを言いやすい環境づくり</p>
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・マイチャレンジの記入と個別面談を行ない、管理者と職員が話し合う機会や自己評価を行う機会を設けている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前に出来る限り面談を行い、話を聞く機会を作っている		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前に家族より話を伺い、アセスメントを行なっている		
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・面談を行なった者からの報告を受け、職員間で話し合い、入居可能な方であるか相談の場を持っている		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・入居の際は利用者の慣れ親しんだ家具や食器を持ってきていただき、その人らしい空間づくりに努めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・日常生活や行事を通して、利用者の得意としている事などに教わる姿勢を持ち、出来ない部分は支援しながら、一緒に作業を行なっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	・手紙や電話での近況報告を行なっている ・地域交流行事への参加を勧めている	○	・今後は大きなイベントだけではなく、行事や勉強会にも参加を促して行きたい
29	○利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・利用者の状況に応じて、家族への電話を勧めたり、面会依頼を行なっている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・利用者が住んでおられた地区の話をしたり、家族に昔の写真を持ってきていただいたりしている ・住んでおられた地区への外出も行なっている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・仲の良い利用者同士が過ごせる場を作っている ・孤立しがちな方には職員が間に入り会話をつなげている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退所後も相談があれば受け付けている	○	・今まで継続的な関わりを必要とされた利用者や家族があまりおられず、その場合の窓口や対応を全職員が把握しなければならない

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・利用者、家族の意向を常に確認し、それに応じた介護計画を立てている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居後、出来る限り今までの生活歴等を利用者や家族より伺い、アセスメント用紙に記入している	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・定期的または状況に応じて、カンファレンスを行っている ・日々の様子を記録し、全職員が把握している	
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・職員が困っている事を挙げる介護計画ではなく、利用者や家族の困っている事や希望を計画として挙げている	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・定期的、または状況の変化に応じてカンファレンスを行っている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・サービス記録に日々の様子を記入し、申し送り簿に全職員が共有する情報を記録し、把握している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・デイサービスの利用者との交流や行事を行なっている ・デイサービスの大浴場の利用を行なっている		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・ボランティアの受け入れを行なっている ・消防訓練の参加	○	・文化、教育機関との連携づくり
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・入院等による急激なレベル低下で、他の施設種を希望された時は情報提供等をしている	○	・ケアマネジャーやサービス事業者との話し合う機会を多く持ち、利用者にとってのよりよいサービスを検討していきたい
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進会議に参席していただき、情報交換、その他話し合いを行なっている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・提携医が主に主治医であるが、利用者または家族が希望される医療機関があれば、家族対応で適切な医療機関を受診している</p>		
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・常に提携医に相談し、状況に応じて専門医を紹介している</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・提携医や看護職員には小さな事でも相談し、情報や助言、指示を得て行動している</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・医療機関へ出向き、状況を伺っている ・入退院時の情報交換を行なっている</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・重度化した場合、家族や医療機関との連携を持ち、その人らしい支援を行なう</p>	○	<p>・早い段階からの利用者や家族の意思の確認を行ないたい</p>
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・利用者、家族の意思を尊重した上で、当施設で終末期を迎えられるかをチームとして話合っている</p>	○	<p>・ターミナルケアの経験が少ない職員が多く、勉強不足</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 <input type="checkbox"/> 住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・別の居所へ介護サマリーを送付し、情報提供を行なっている ・退所後も相談があれば受け付けている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 <input type="checkbox"/> プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・プライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行なわない様、職員間で注意を払っている ・記録の取り扱いには十分注意している		
51 <input type="checkbox"/> 利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・日常生活や会話の中で、その人らしい生活とは何かを感じ取り、自己決定できるように働きかけたり、選択できる様援助している		
52 <input type="checkbox"/> 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・個人のペースを優先しながらも、何もしない一日にならない様、規則正しい生活を基本に、役割や楽しみの提供を行なっている		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 <input type="checkbox"/> 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・月一回の訪問理容を利用し、また希望者には地域の理髪店の利用を勧めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・利用者と職員が準備から片付けまで一緒に行っている</p> <p>・個別で外食に行く機会を設け、好きな物を食べていただく</p>	○	<p>・利用者の意見を取り入れたメニュー作り</p>
<p>55 ○利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・利用者の嗜好を把握し、個々の健康状態に応じ、個別メニューでも対応している</p> <p>・居酒屋を定期的にオープンし、いつもとは違った雰囲気や飲食を楽しんでいただいている</p>		
<p>56 ○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>・排泄チェック表を作成し、排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、可能な限りおむつを使用しない様心がけている</p>		
<p>57 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・出来る限り希望は取り入れているが、時間の制限もあり、対応できない事もある</p> <p>・月2回のデイサービスの大浴場を利用し、銭湯気分を味わっていただいている</p>		
<p>58 ○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>・規則正しい生活を送る事を基本に、利用者の生活パターンを把握し、状況に応じて柔軟に対応している</p>		
<p>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</p>			
<p>59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・昔からしていた事、趣味や得意な事を生かせる場を提供する</p> <p>・日常生活の中で役割を見つけ、やりがいや楽しみを持っていただく</p>		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・所持を希望される方には家族の同意も得て、所持していただいている ・買い物先では出来る限り支払いを本人にしていただげる様援助している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・外出希望には可能な限り対応している ・外出される方がいつも同じでない様、職員から声掛けし、外出を促している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している	・行事として外出の機会を設けている ・家族の協力も得て、一緒に外出していただいている	○	・階ごとのグループ分けで外出するのではなく、個々のレベルに応じたグループ分けでの外出を考える
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・手紙や電話はいつでも行なえる様支援している ・訴えがない場合も、職員から電話を勧めることもある		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会時間を設けず自由に訪問していただける様にしている ・気分転換に面会者との外出を勧めることもある		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・見守る介護を基本とし、身体拘束は行なっていない		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中施錠は行わず、自由に入出りできる様開放している ・玄関にはチャイムを設置し、対応している		
67	○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・日中、生活の中でさりげなく見守りや所在確認を行なっている ・夜間は頻回な巡回を行なっている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・ハサミやつめきりなど個々のレベルに応じて、自身での管理や預かり保管している ・カミソリは預かり、使用の際は見守りを行なっている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・事故報告書、ヒヤリハットを記入し、情報を共有している ・会議やカンファレンスで事例検討を行い再発防止に努めている	○	・ヒヤリハット記入の習慣化
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・定期的な消防訓練の実施 ・実際の急変や事故発生時に正しい対応が行なえたかどうか、会議で検証している	○	・定期的な心肺蘇生訓練の受講
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・定期的な消防訓練の実施	○	・火災以外の災害に対しての想定や訓練が出来ていない ・町ぐるみで防災マップの作成を計画

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・近況報告を行い、その際に起こり得るリスクについての説明を行い、家族からも意見を聞き、理解していただいている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・日頃の様子観察やバイタルチェックを行い、早期の異変発見に努めている ・提携医に早期連絡し、指示を仰いでいる		
74 ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・一回分の薬を個別にセットし、服薬チェック表をつけ、誤薬防止に努めている ・症状の変化があった際は、提携医に早期連絡し、指示を仰いでいる		
75 ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・乳製品や食物繊維が摂取できる食事づくり ・適度な運動と水分補給も随時行なっている	○	・楽しみながら利用者のレベルに応じた無理のない運動を心がける
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後のうがいの実施 ・夕食後には義歯洗浄、歯磨きの声掛けや援助を行なっている		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事量の記録を行い、その中でも食事量や水分量が少ない方に関しては、詳細を記録し、好みや栄養状態の把握を行なっている	○	・カロリー計算を行なったメニュー作り

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	・感染症マニュアルに基づき、感染予防や感染後の対応を行なっている ・手洗い、うがい、消毒に努めている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・一日の終わりに調理器具の消毒を行なっている ・新鮮な食材の購入や使用を心がけ、賞味期限のチェックを行う		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関や建物周囲には木や植物があふれ、暖かな空間が作れている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・壁には写真や作品を掲示し、楽しめる空間を作っている ・リビングでは食事作り、洗濯たたみなど、家庭の光景がある	○	・浴室、トイレは冬場は寒く、改善が必要
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・職員室を出来る限り開放し、リビングとは違う過ごし方をしていただける様工夫している	○	・和室の有効的な利用

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・慣れ親しんだ家具や食器を持って来ていただき、その人らしい空間作りに努めている ・転倒などのリスクの少ない空間作りの工夫	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・温度調節は随時行ない、また定期的な換気を行なっている	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下、トイレ等に手すりを設置し、居室についても個々に応じて手すりや家具の配置を行なっている	○ ・重度化した利用者でも入りやすい浴槽の工夫
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・居室前に表札を設置したり、個人の写真を飾り、違いがわかる様に工夫している	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・ベランダに花壇、中庭に畑を作り、自由に作業できるようにしている ・洗濯干しは出来る限り、ベランダや中庭で行なっている	○ ・中庭やベランダでの休憩スペースの設置

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・センター方式を導入したケアプランを作成し、利用者本位の介護計画を実施している

・職員の離職率が低く、そのためチームワークが良く家庭的な雰囲気を作れている